

# BONDのスマートアバター®の強み\_\_ChatGPTや他の汎用的な生成AIとの違い

【参照】 chatGPTにBONDの独自AIと他生成AIとの比較を質問した結果（2025年6月9日）

BONDの「スマートアバター®」は、ChatGPTや他の汎用的な生成AIとは**目的・設計思想・導入現場**が異なり、**現実社会での“顔を持ったAI”としての実用性**に特化しているのが最大の強みです。

以下に、BOND独自のAIの主な強みを、他の一般的な生成AI（例：ChatGPT、Gemini、Claudeなど）と比較しながら整理します。

項目	BONDのスマートアバター®	一般的な生成AI（ChatGPTなど）
現場導入実績	地方自治体、観光案内所、企業受付、イベントなどリアルな接客現場で多数導入	主にオンラインやテキストチャット上の活用が中心
人間らしさ	3D/2Dキャラに音声・表情・身振りを持たせ、 <b>リアルな対話感</b> を重視	キャラクター性は限定的。多くはテキストベース
対話設計	シナリオベース+柔軟な自然対話。 <b>無駄話をせず、業務目的に合わせた受け答え</b> が可能	自由度は高いが、業務向けにはカスタマイズが必要
オフライン対応	ネット接続が不安定な場所でも <b>ローカル処理や簡易モードで稼働可能</b>	多くの生成AIはクラウド依存
多言語対応	地域ニーズに応じて <b>日本語特化や観光向け多言語対応</b> に最適化	多言語性能は高いが、現地実装には追加開発が必要
導入サポート	地方自治体・企業向けに <b>導入から運用・メンテナンスまで伴走支援</b>	API提供のみ。構築・運用は基本的にユーザー任せ
商標・ブランド	「スマートアバター®」として明確なブランドを持つ	キャラやアバターはユーザー側で設定が必要

## 技術的な特徴

- ・音声合成・音声認識連携  
リアルタイム会話に強い
- ・表情認識・ジェスチャー表示  
人の感情に寄り添う
- ・目的別に最適化された対話フロー  
観光案内・業務説明・受付など
- ・キャラデザイン・3Dモデルの内製力  
単なるAIではなく「顔を持った存在」として設計

## BONDのAIが向いている場面

例えば、

- ・観光案内所で外国人に道案内をする
- ・高齢者施設で利用者と雑談する
- ・店舗で商品を紹介し、接客を補助する
- ・行政窓口で手続き案内をする

といった「現場で機能するAI」を必要とする**企業や自治体にとって、非常に理にかなったソリューション**です。